



校長先生の挑戦6：磨くということ

10月2日の全校集会では、「校長先生の挑戦6」として、「磨くということ」というテーマで話をしました。

話のはじめに、7月の全校集会の際に子どもたちに見せた私の作品を再び登場させました。前回との違いについて、子どもたちに質問したのですが、右の写真でその違いがわかりますでしょうか？（写真ではかなり微妙。）実物を見て、一人だけ気付いてくれた児童がいました。



実は、今回は、作品の表面を新たに磨き直しています。もともと磨いてある作品なのですが、前は、最後に磨いてから2年ほど経った状態だったため、表面がかなりくすんできていました。金属には、時間が経つと錆びるという性質がありますが、磨き直すことで、金属本来の光沢や素材の美しさを蘇らせることができます。今回は、その磨きたての状態を見てもらうことから話をスタートしました。

「磨く」という言葉は、様々な場面で使われますが、この作品のような「物」の場合だけでなく、「人」の場合にも、大切な意味が込められた言葉だと私は思っています。

- 歯を磨く：「自分の今と未来のためにこつこつと継続することの大切さ」
（面倒くさいと言ってそれを怠れば、そのツケは自分に返ってくる）
- 床を磨く：「懸命に取り組めば、人の心を動かすことさえできる素晴らしさ」
（左下の写真は、風景が映り込むほど磨き上げられたあるお寺の床）
- 腕を磨く：「自分らしさを発揮し、それを伸ばすことの大切さ」
（やりたいことややりたいものをみつけその知識や技を身に付ける）
- 自分を磨く：「ありたい自分の姿を思い描きそれに近づく努力をすることの大切さ」
（ありのままの自分と向き合い、更に素晴らしいありたい自分へ）



話と平行して、左手では、古い10円玉に磨き粉をつけて磨き続けていました。回数にして、1000回位は、ゴシゴシしたでしょうか。努力の後には、きっと輝きが待っていることを信じながら、ひたすら指を動かし、ピカピカになりました。「磨く」というのは、地道で単調な作業です。大変と言ってしまうかもしれませんが「未来を信じてワクワクできる」とても素敵な作業でもあると思います。

先生方も磨いています。一人一研究授業。

9月終わりから10月はじめにかけて、先生方の研究授業が実施されました。研究授業とは、より良い授業づくりを目指して行う研修で、本校では、全ての先生方が行います。一つの授業を作り上げるために、夏休み前から構想を練り、お互いに意見を交換しながら、何時間もかけて、内容をブラッシュアップしてきました。普段の授業では、一時間の授業準備に何時間もかけることなど出来ません。その分、研究授業では、時間をかけ、新しい試みに挑戦したり、みんな



で共通の課題に取り組んだりします。例えば、ICTの活用では、自分が学んだことのないものを使いこなし、かつ、それを子どもたちに伝えていかなければなりません。

理科の授業では、グループ毎に実験を行い、その様子を動画で撮影したものを提示しながら発表を行っていました。さながらドラマのプレゼンシーンのようでした。

運動会、皆の心を感動でつなぐ素敵なものになりました！



10月15日は、第70回の記念すべき運動会でした。当日は、暑い1日とはなりましたが、どこか爽やかさも感じられる素敵な秋晴れの中での開催となりました。

9月22日の、第1回の全体練習の時に、子どもたちに、「まだまだ暑いけれど、しっかり練習を頑張りましょう。でも、何のために頑張るのかな？」という話をしました。「優勝のため？でも、何故、優勝を目指すのかな？」、「もし、優勝しなかったら、頑張ったことは、全部、無駄になってしまうのかな？？」

「頑張るのは感動に出会うため。」私は、子どもたちにそう話しました。優勝してうれしいのも、負けてくやしいのも感動です。みんなで心を合わせて踊る「エイサー」や「ソーラン節」の高揚感や充実感、声をからして応援する一体感や連帯感、団長や各係が抱く責任感や重圧感等、子どもたちは、運動会で、色々な感動に出会えたことと思います。一生懸命に取り組んで、心が動けば、しっかりと記憶に刻まれます。刻まれた感動は、心の一部として自分を支え、時に次なる挑戦への糧ともなります。



運動会に関わる私の唯一の思い出は、中3の時の体育大会です。あまり積極的ではなく、リーダー等やったこともなかった私ですが、初めて「看板係」という係を自分から引き受けました。体育倉庫の片隅で夕方遅くまで描いたこと、体育大会当日の朝、暗いうちから看板の飾り付けに行ったことなど、徒走



や団技等より、よほど鮮明に覚えています。決して、満足のいく出来でなかったことも含め、その時の感動が、今の自分の何%かを占めているのではないかと感じています。

私は、運動会に限らず、子どもたちに「頑張れ」と声をかけたいと思っています。それは、多くの豊かなものを身に付けて欲しいという「頑張れ」でもありますが、素敵な感動に出会って欲しいという「頑張れ」でもあります。

避難訓練（不審者対応）がありました。

10月25日は、不審者対応の避難訓練がありました。大阪教育大附属池田小学校の事件から、20年以上が経ちました。安全であるはずの学校が、一瞬にして悲惨な場と化す。平和学習の際に、講師の甲斐さんが「今の世の中は平和ではない」という話をされましたが、身勝手な衝動を自らの理性で抑えることができない、そんな社会の傾向は、年々、強まってきているような気がします。



何かニュースがあると、SNSに賛否両論が渦巻き、ささくれだった言葉が飛び交います。相手と意見が違って、その目を見ながら、その息づかいを感じながら、等しく尊いその相手と意見を擦り合わせていくことを学ぶ場が学校だと思っています。

11月の行事予定

11月 1日	全校集会	11月19日	参観日・PTA親睦会
11月 2日	秋の遠足（1～4年）	11月24日	振替休業日
11月 7日	避難訓練（火災）	11月29日	みやざき学習状況調査
11月14日	読み聞かせ・クラブ⑦	11月30日	なわとび集会